

債額一億七百四十七萬五千六百圓の買収手續をとつた。こゝにおいて滿洲の滿洲重工企業に對する整個の確立をなすに至つたものである（寫眞は經濟部の調印式）。

一億圓内國債の條件決定

政府は滿洲工業の所有株式の拂込みを促すため投資事業公債法により三月二日中銀に發行を命じ、一億圓の内國債發行を命じた。

一、生ては、
二、死に
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一品作俗通な輕手おー



映上時同

土地の顔役

福

高勢實乘・鬼距善一郎
鬼吉喧嘩往來
清水一家の暴れ者楠屋の鬼吉が一生一庵
の大喧嘩に喧嘩がついで乗込むと云ふ
・廣澤虎造得意の浪曲トキキ
日活傑作・杉狂児・星玲子
美人賞

三
日
公
開
奉
仕
料
金
六
十
錢

座日朝

日活わらわし隊

和 田 君 示

！京來舉大名十數外 彥昌妻吾・子夢明有

三
日
公
開
奉
仕
料
金
六
十
錢



新 京 永 樂 町 五
亞 細 亞 塔 克 一
電 ③ 二 五 四 · 二 五 二 番

青柳の柳すき

新
京
祝
町
三
丁
目

械機

産業の開發は機械から
今直ぐ大デパート

機械工具専門店

機械と工具！

犬の附屬品入荷
是非御用命下さい

●香ふばしいほうじ茶●大石薬店●

待期御乞

島杉早苗 佐分利信 桑野通子
島田浩吉 高峰三枝子 大井廣

家族會議

と姉の片岡千恵蔵原作・空海の名作

明 北見 二郎 長 荒川の佐吉

名實共に日本三大歌劇の一絢爛目を奪ふ豪華版

主演者



主なる
出演者

奈良祐子 小泉麗子 常盤美美子 若宮敏子
正木正子 南小百合 三笠花子 森照子
一條米子 羽根松子 秋本喜久惠 美谷峰子
高木喜久子 紅咲子 小宮愛子 竹久順子
淡路利惠子 金江滿子 六崎良子 菊池澄江

東京少女歌劇

樂士

竹田正夫

初
日
番
組
!!

三月
三四月
三日間

西黃易菑載具藥部

大新京日報社

大衆料金
金壹圓
一均



その一黨

!!にうやき無し逃見御非是！篇大巨華豪っ放も又がネキ銀の進躍

！劇悲ぬら堪てけ泣てけ泣の上以、烏子呼”篇名の涙

60

女蜘蛛郎

新異人物色

市川高梧 川島雄三 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門 市川右太衛門

愛すればこそ！
清い、崇い、純愛の熱情を貫き
通して、若き薄倅の女性が愛人
と愛し子に見守られて！水雨に
濡れたわくら葉の様に！

河津清三郎

眞山みく子

新入 美鳩 しまり

江川 なるみ

日下部 章

競演

女は嘆かず

全女性に捧ぐ涙

篇名×母子の大悲劇

銀座ネキ

中部支那に於ける戰局は愈々進展しつつある。一昨一日

さきに外國通信社員が支那共産黨の毛澤東を訪ねて一問

京通一昭和製鋼所の満洲國への移譲に

總動員法實施の祭よ

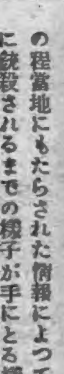
一日丸の内工業俱樂部に於て
理事會を開催 照案の鐵鋼協
者として左の五氏を選
設立に關することと決

戦時
つれ
な

友邦たらじめん

ベルリン、ローマ、新京の
鼎足により新しき東洋と新
同時にその實務の重大なる

【濟南一日發國通】あつて遂に彼を引ずり、抗日が、韓を蔽ふ



1

トラー總統は昨年九月ムソリ
ニ首相のドイツ訪問の答禮
今回で二回目である

はキリアレ王宮に滞在の豫定であるが、イタリイ訪問中ヒトライ總統はイタリイ

ルリ 廿八日 癸酉

物質的、實利的方面
みならずわが國建國

赴任し我國上下の熱誠な
友好親の意を披瀝し滿
を動員し計畫統制經
て國民の再教育をな

た自動車が宿舎前通りをととも戦死傷數名を出して韓の河驛よりの裝甲列車に

伯誠の密電によつて來

10

[illegible]

本日 開店

皆様のお馴染の大阪心
齊橋味の王美松が開店
致しました

サービスガールは勿論
コツク…味…大阪美松
其儘の出現です是非新
京の皆様にご心齊橋の氣
分を大に味つて戴きた
いのです何卒御引立の
程お願い致します

高級社交場 美松茶室

祝町二丁目
京キネマ前角
電話三三三八八

流

張資平 作
大內隆雄 譯

今日出て電車に乗場所へ行き、一台の電車をひき乗つて、通りの兩側に装飾物で終つてゐる。彼は走馬燈でも見るやうに、赤青緑の色んな光を見た。もともとい限はなかりやしてゐたのである。電車の走るに任せてゐた。

渡場所に来て幾度も降動車か、眼のやうに狂気吼

支那の名園
(下)

龍居公之助

の植物などには往に對して何らの引をもちたないが、この例はそれの感受力が鋭でないものである。彼らは一年の冬が恰好昨日の事であるやうに過ぎぬ。その時彼等はここへ市街を賣り、背負つて立ってゐる。それが假設的な服を着た。それが假設的な

次に支那の庭園の特色として一種の相違を有する庭園といふ京地方を見ればこれともない。その一例として白雲峯の庭を挙げる事が出来る。

白雲峯の道教の寺であるがその庭園は極端の狭い土地に工巧の庭造られ、例の奇岩怪石といふような景観が巧みに織り出されてゐる。而して此れが建築と密接な關係を有している事は建物に開闢された第一層の廊下と支那人一階の扇欄と格柵をもした事が一瞥で感ぜられる。これは敢てこの庭園の特色ではな、支那庭園の特色であると云ふべきであらう。

バクゲキオ

[illegible]

六年間の覺書

(八) 佐和山一郎

昭和十二年二月に特筆すべきことは、牛島寿次郎の『大坂新町史』に發表された、大同國體によつて上演された好評を博し、ラヂオドラマの脚本新傑にも含められ、牛島一樹集をもつて當選したところである。之は、『精治行状記』に登場したが、今村文彦の作品には定評があるから、『浮城物語』の小説家土邊の『浮城物語』は公衆の注目點に關する外、凡事入道と樂堂を離れて、海外文壇の爲めに奮闘したものと眞實に事實を對して讀みこむべきであらう。

この外、『瀧別行狀』には境野明明、北村樸文の諸君が力作を發表し、七望以下は爲松三君が『黒い糸』を發表して雄姿の巧みを賞はれた。

雜誌『新京』もその夏頃に創刊に小説に力を注ぎ、七月に岸山一郎の『櫻子の住人』・奥ノ君の『アートの佳人達』・空想雑誌で内田麻寂者の續作等あつて件々驚かされてゐた。特に十二月に發表された『十二月に發光するもの』(作者の名を隠して漢字のみ)は時態」と、昭和九年三月號「意氣」に發表した三嶋彌太郎の「建設小説」との異同文章の中へ是れは眞の意の雄士文豪中の文豪として永年に忘れられない作品である。

年末になつて、奥ノ君の著作『與本とのマシヤム』が出たが之は別に感心した。

17. 『精治行状記』の十二月號『實平君が昨年一年間に發表したる題目を忘れた』書くのを題目に忘れた。書くのを忘れたのは、

る。而して西瀛が植栽せられてゐることも所謂文人庭らしく感じられる。

この小亭は寶形造のもので、屋根裏を見ると、その材料は丸角を自由に混用し且つ赤青、緑などに彩色して磨り、よく支那獨特の氣分を出してゐる。

元來の支那範圍にふものは、即ち自然美を表現するのは、一も止らず、常人の生活と結びついてゐる。これは北支のみでなく南に於けるものも同様である。それ故に支那の風景を見るものはそこに人間とふものをはてしてはならぬので、かうして三國亭に於てその人々文化藝術趣味を高め、と勘定が合ふことになる。つまり留置官に切り出した特殊の要領を造り出し、主客共に仙人となつたやうな持特その中、陶酔したいといふことにならぬこと。最後に北京の住宅問題のこゝを一言で置かう。無論特別なる邸宅のこと、別荘として普通一般中流以上の住宅に

性質上最も簡単なものが多い。所謂中庭式の家が多い。典型的な一例を擧げると門を入ると獨立の壁がある。これには大抵瓦葺きの屋簷があり、その左右から中庭に入ることになるが、家は正面と左右に建てられた正面が中心建築である。これが家数数となりて居り、これが家族の住居となつてゐるなど、家族我が平安朝時代にある。そして中庭には有様大木のあるものがあるが、多くは一面鋪装した縁側など

を要するに實用本位の空想
を、いかに通ないう。従て日
本の書院風やうに色々と跳
ぬる國つた意圖などは諸説求
められ、絢爛なうたゝり
であられ、絲といて日本本
の盆栽の如きものでな。本家
に特殊な難題を有する人は
に專用な難題を有する人。
この鉢植にうゝ苦心にて
立派なものを蒐集したり、ま
た彼の一時や餘地の鬱々した
つてし梅蘭芳や如く日本の
を栽培して樂むものは、座
（梅の宅で門内の中庭など
と、その方がいいかも知れ
ない）その方がいいかも知れ
ない）日本の盆栽の如きもの
を造つて、そこに多數の観
を陳列して喜ぶものもある。

追　　に三日も掛つて損したと云ふ。
陳　　やうな少數で、新嘉坡の浮浪者
の　　を相手に、華語のみを武器
の　　であつた。それ程の腕で、
の　　しただけのものゝ勝つてく
三　　書いたのだが、假の田かど
一　　二日星加坡へ新嘉の所
三　　だ放つておいて、自分の所
朱　　の事を詳に述べた方が賢明
一　　である。又内陸部は
三　　昨年の年末に、年間の新嘉
三　　坡を回顧する物で、鑑か原稿
三　　用三尺段らちで片づけて
三　　したが、あれでは折角編
三　　文藝の爲に創作して來た人
三　　位全く浮かばれと云ふも
三　　には。百書あつて一冊無
三　　とはこんな事をして云ふが
三　　かも知れない。附言を乞ふ。

去年は僕は酒ばかり飲んで

俳優への認識

、大同劇團第二部（編 するだけの
公演を見てゐると、そ 進化の道を

た人が「悪い」の烙印を食
らして「良い」二枚目です
として現
面にはそれとなく、
の姿にすぎず
昨年の
に露部
第二部（全
て同十二）
の結
は第三部

[illegible]

澤醫院

五羊 入院診應需

前 創 五 四 三 六 九 四 民 德

は非難すべきことでは

と演劇の進化の道程

のそれとを自ら異つて

し、映畫の進し得る領域

が演劇が進得ないといふこ

演劇の進し得る領域に

進得ないことを證明

とする道

てやりた

この國

の諸君

目覚は

はなら

新しな

の不信と

なる原

結局才能

我々は

感覚を

を磨へた

望して

我々は

先づ

活する

われれ

らだ。

だ。

だ。

だ。

だ。

だ。

だ。

だ。

何一つ仕事らしい仕事
も無い。今年はずつ
と怠惰なやつである。
お祖母も、全く記憶だ
けで、驚愕的なだけ
で、通算した所や、間違
つた所があるに於ては
さへ、馬鹿を云つた時と異
なはずなり、牛飼味噌を並
べた、馬はなんぞ貰ひた
い、何かの爲になんぞない
と、面白く讀んで貰へた
のだと、是れ、僕たちのもの
に於て、と、その人の道徳性
を任せることにして、此
から除外した。

「高梁」のこと
「新嘉坡日日」の談話のこと
「南洋百載」の創作例の
こと
新嘉坡文藝園ののこと
（一九一五年二月）

櫻を求めの
君は一人は
つてゐない
頭ではない
である。

そして
の才眼を
記憶力で
鑑として
道具を磨
つたのだ
と、その
の本格的
の素朴な
永遠な年
を、それ
よつてこ

花柳一般外科 肝病

因襲的な
 世間が我
 つうに現
 故に諸君
 とする道
 てやりた
 この國
 第 二 步
 る。諸君
 自覺をは
 はならな
 斬しい
 の不信と
 かなる原

にこれは進歩すべきことではない。

もともと自國の進化の道程は、映画の支那とは自ら興つてゐる。映画の速し得る領域に演劇が追いつけないといふことは、演劇の達し得る領域に映画が達し得ないことを證明した所があるから此方については、色々懸念云々つたり與天を飛ばしたり一年餘味増やせばたが、愚か思ふで賣らない。何かの爲には買はないにしても、面白く観て貰へないからさうだと思ふ。尙未のものに關しては、それへの適任者にお任せすることにして、此の稿から除外した。

「高梁」のこと
「新東京日本文藝館」のこと
「新東京日報」の創作部のこと
「東京文藝振興會」のこと

(昭和五年二月)

選をめぐ
戦の應

小生は
買へる
な書く
と書

か知ら
いふ虫
とか▼
襦がソ
仕掛け
に梯子
に忍び
つた由
反共ッ
こまで

本日
 加保
 △長春（
 オン
 へる
 三本目
 等の作
 界與太
 煮」等
 八島通
 △財界春
 小池寛
 ーその

三ノ一
懸賞界
立野信
一銀本
建設
集につ
せてみ
林町四
二十五
△同盟旬
一月上
を分類
西八ノ
十五銭
婦人俱
内容、
の按排
もの愛
豪華色
片圖鑑
グラビ
の谷將
聴く座
南京の
交響曲

愛論、子供、シヨウ、事、附、四六倍、流行刑、ある、新聞、
△満洲鐵、赤瀬川、現勢、北支鐵、價值、鑛業、滿洲、滿洲、資料、の、
△議會、一、から、案に關、ある、二、五、

電話買ひたし
安楽館に連ふる共に入會へ
新設の三馬路
自強會
古物 ナンペモ
高く買ひ
二丁目十八
御神前社
サツク
風化し易く
多し用は専門の
名親性の百貨店
トラツク
平野工務所へ
入會隨意
慶應看護婦會
派遣婦會
新嘉坡梅枝町三十三
電話③五六六九
タイピスト
生徒
新嘉坡
大和運輸公司
運搬
トラツクに依る
救正月尊門
中學校
御指定
小原隆骨院
電話③二六八
内能、ヤ、電話即時配達
ロシヤ菓子
共銀二十一
小包便
熱別便
三泰公司
電話③二七五七
印刷帳簿
三友社
新嘉坡永樂
電話③二四四

<p>肺 助咳、腹痰。 同補、腎損痛。 其他家傳良藥あり。</p> <p>三堂町二丁目二四 奉仕堂藥房 電話六六三六番</p>	<p>鍼灸 漢通町二丁目十番樓 東條洋金堂 吉光堂療院 電話七三三三番</p>	<p>特効藥安心散 慢性花柳病、皮膚病、 關節炎、神經痛、 効果確實、試観せよ。</p> <p>漢通町二丁目十番樓 吉光堂療院</p>	<p>かんばん 玉江 電話二八二八番 新東京本堂 今辨慶整骨院 漢通町院東正門前 電話五三六二番</p>	<p>ほねつぎ 中央通り 豊泰本局 末松接骨院 電話三三三三番</p>	<p>ほねつぎ 一心堂 電話二九〇八番 大和町四六二番</p>	<p>あんま 東一條通五六 九州堂療院 電話六五〇九番</p>	<p>お茶と お茶良具は 新京吉野町一丁目 みどり茶園 電話四七七〇番</p>	<p>質 屋一五九 福一五五 七番(三) 大入</p>
--	--	---	--	---	---	---	--	--

すまし貸で用償せず更働働名

融金話電

橋三七七五三番(二ノ町駅老)橋ヤイダ京新

電話及金融

金融即時・長期秘密
橋ヤイダ金でお買入が出来ます
(無用の方) 获本電話店
(06267)
新成人前町二二二二

喰立と食定の婦天
喰立の司専版大京東
速込物調庫倉

目二町野吉
五三三三(三)電

屋味廣

傳家お灸

- 脚膝痛
- 脚腕痛
- 肩痛
- 腰痛
- 頭痛
- 中風
- あんま特設

清水堂鍼灸院
電話(六三三七七)

電話金融

低得で敬通

白金・金・銀高價買入
横濱屋質店
東二丁目二十五番
電話(七四七五)

新しき女性の生た洋裁研究所

夜自研裁
開由究研
部科料科

△學科別一課費
大衆通し四九

文華洋裁學堂

タイプ印書

翻譯・立案
謄寫・代書

新満社
電話(二二八七)

[illegible]

是事

博愛屋

質屋知愛

大愛買

新銀京

切親

科學

科學

新衣裳

質

博愛屋

質屋知愛

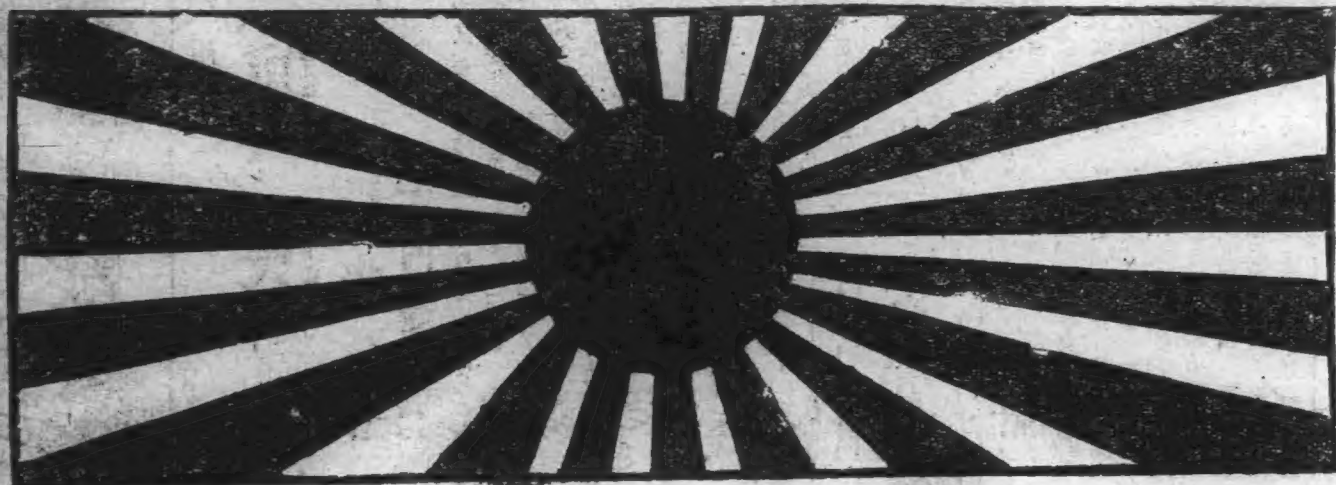
新銀京

科學

科學

新衣裳

[illegible][illegible]



丸福果実店

銀座新道角 電話(3)六三二一六番



純良醬油
味噌
ソース
酢

特約販賣店

福鶴

日本晴

石川酒造本店
謹特約店

金鶴

白鶴

特約店

何品に依らず薄利多賣現金主義をモットーに開店しましたがクダモノ同様一層の御引立を懇願致します如何に弊店が勉強してゐるかは是非一度御試し下さい
白米、木炭、ビール、サイダー
各洋酒、漬物、梅干、味の素
各種罐詰、フルーツ罐詰、石鹼
ロシヤ飴、森永、明治、製菓
ちり紙、他種々
各種クダモノ豊富着荷

食料雑貨部開設

クダモノ店として既に好評ある銀座新道角の丸福果実店が此度び

鏡後の片り!!
先づ家庭の経済あり

(百七十九)

逆
流

[illegible]

てると、一下の警察は、たちまち突進に及びました。
「シッ、静かに……」
不平の制止の聲で、また鳴りを収めます。

年には、由比正盛、大庭秀雄等の大騒動事件があつたこともわからぬが、業界が浪人の取柄に、調子を失つたのも、無理のないことである。

「肝煎」云々、あはれて集めて
「肝煎」をひたひた、今夜は夢で死
うけた。
立ち上つて、刀を枕に、裏衣は
着直した。
一服茶を立吞ました。
大の酔ひです。
「あの原田氏」云々、つて、軍平
は呼びました。
一瞬、驚かへた。あの黒頭
「肝煎」
「は」といふつて、引越して來し
てゐた。

「秘密の相があるや……」

「承知……」

外は暗い。しかし、窓には一はに蓮の光りを透れて固まashed

やがて、劇の幕がひいて、三・五

敷つて行く。美なたち。

1

御前所
常用浴室
十ヶ番屋
二階上り
二階下り
常用浴場
テラ部屋
五間上り
八間まで
長崎海軍工廠
二階以上
上

夜間診療

● 內科 ● 小兒科 ● 皮膚科 ● 性病科 ● 外科
醫學博士 太田南 醫學博士 齋藤徹二 醫學士 出崎大次郎
● 耳鼻咽喉科 ● 産婦人科 ● レントゲン ● 物理療法科
醫學士 佐村義雄 醫學士 吉川直 醫學士 深町穂積

各門科專門
深町醫院

醫學博士 深町穂積
△新京・朝日通り

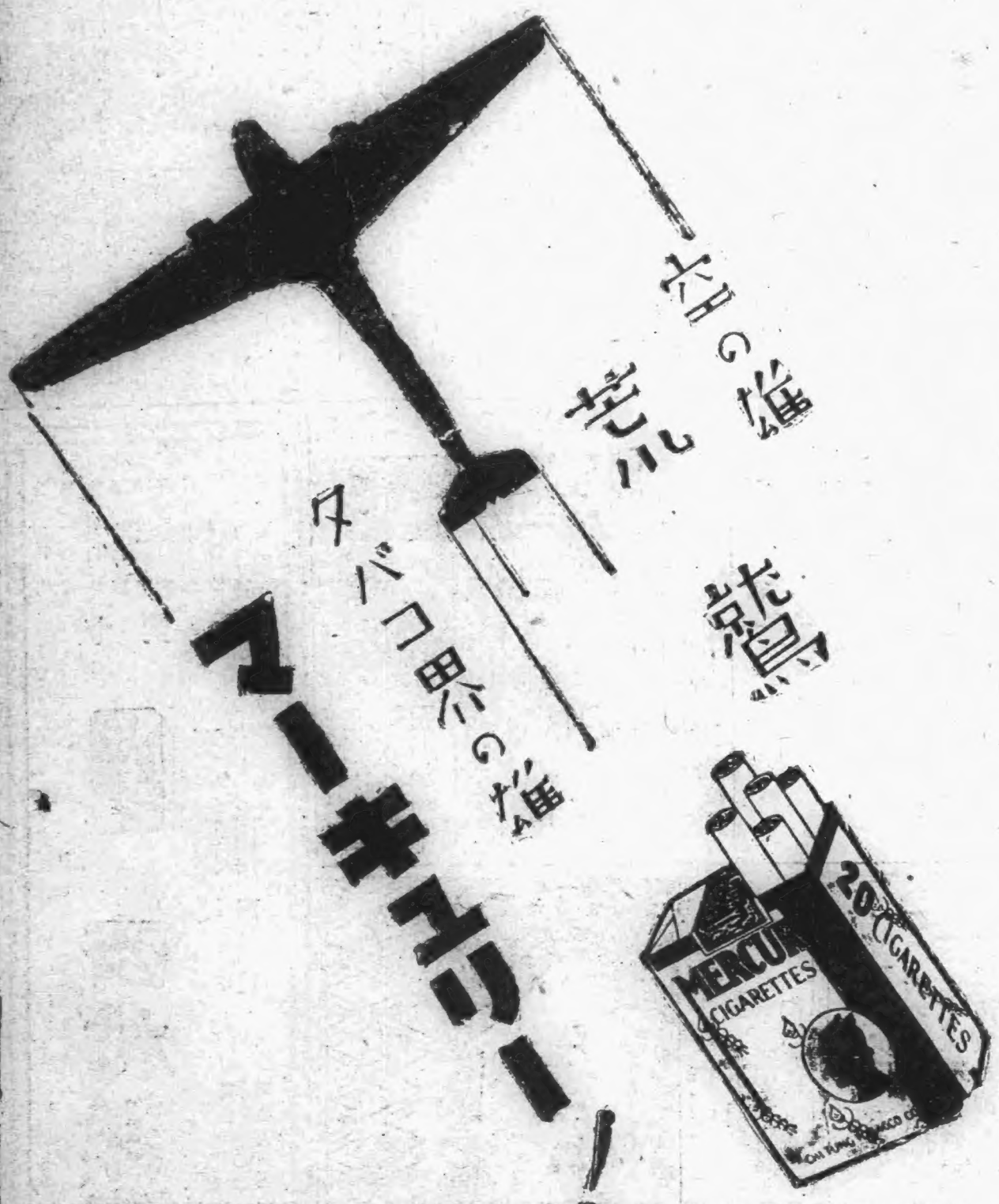
日本赤十字救護所
國內にあり

電 (3) 六六四一番
六六八番

19. 社會式柳油醬田野 遙形御省內宮

入院
診隨
時
主任
監査
電③三一七一・六五三〇番
新吉野町 記念公會堂前
加賀田八重子

新京朝日通三十三番地
日本橋通より東約入一丁
電話(3)五四四九番



JM-30